

目次

★	発生動向総覧	P 1～2
★	感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P 3
★	指定届出機関からの特記事項欄コメント	P 3～4
★	全数把握感染症集計表	P 5
★	定点把握感染症集計表	P 6～10
★	定点把握感染症推移グラフ	P 11～15
★	定点把握感染症集計表（月報）	P 16～19
★	定点把握感染症推移グラフ（月報）	P 20～21
★	新型コロナウイルスのPCR検査等の状況	P 22
★	国内及び静岡県内の 季節性インフルエンザの流行状況	P 23～24
★	サル痘	P 25～26



発生動向総覧

《第5週コメント》2月9日集計分

県内のインフルエンザの定点当たり報告数が3.35となり、先週の3.01から微増の状況です。

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、中部（1）、西部（1）、浜松市（2））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 E型肝炎（東部（1））
- 5 類感染症 水痘（入院例）（中部（1））、梅毒（御殿場（1）、富士（1）、中部（1）、西部（2）、浜松市（3））

新型コロナウイルス等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（167）、熱海（256）、東部（1,731）、御殿場（308）、富士（1,260）、静岡市（2,427）中部（1,512）、西部（1,504）、浜松市（2,350）、自己検査（839））

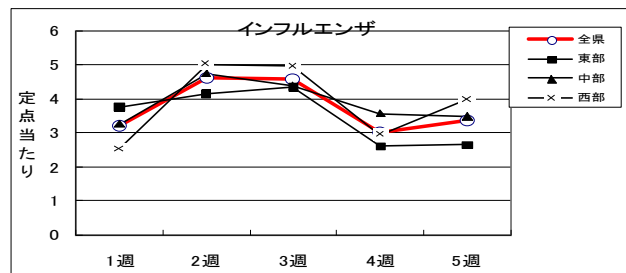
◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

令和5年第5週(1/30～2/5)の動向

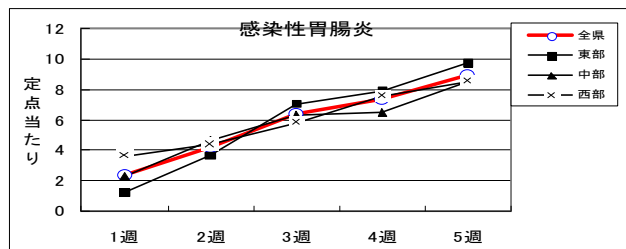
インフルエンザ

全県で罹患数465、定点当たり3.35の患者発生あり、全県では前週からわずかに増加したが、中部地区では減少した。定点当たり東部地区で2.64、中部地区で3.48、西部地区で3.98の発生あり。西部地区が最も増加率が高い。3地区間の定点当たりの患者数は西高東低となったが、患者数の突出した地区及び保健所はなくこのペースが維持されれば、注意報レベルにはもう少し時間を要すると思われる。



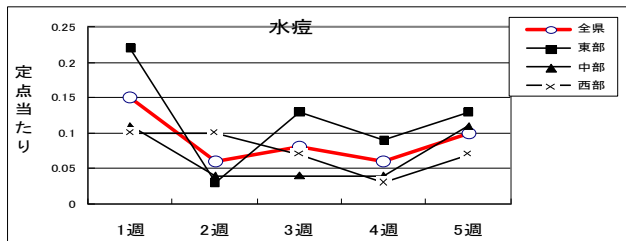
感染性胃腸炎

全県で罹患数797、定点当たり8.96の患者発生あり、県内全地区で前週より増加した。定点当たり東部地区で9.75、中部地区で8.48、西部地区で8.53の患者発生あり、3地区間での増加率は1.13～1.31で前週とほぼ同じペースで増加している。



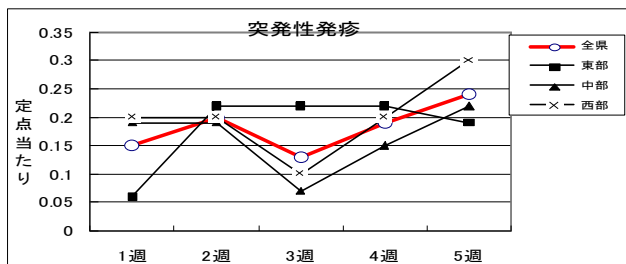
水痘

全県で罹患数9、定点当たり0.10の患者発生あり、県内全地区で前週より増加した。定点当たり東部地区で0.13、中部地区で0.11、西部地区で0.07の患者発生あり、中部地区の増加率が2.75倍と最も高いが地域間での差はわずかである、全国では鹿児島県で警戒レベル、北海道、千葉県、大阪府で注意報レベルに達している。



突発性発疹

全県で罹患数21、定点当たり0.24の患者発生あり、東部以外の2地区で増加し、全県的には前週より1.26倍の増加となった。定点当たり東部地区で0.19、中部地区で0.22、西部地区で0.30の患者発生あり、増加した中部及び西部の2地区は1.47～1.50倍の増加率で地域差は高い。例年の動向から今後大きな流行になる可能性は低い、動向には注視する必要がある。

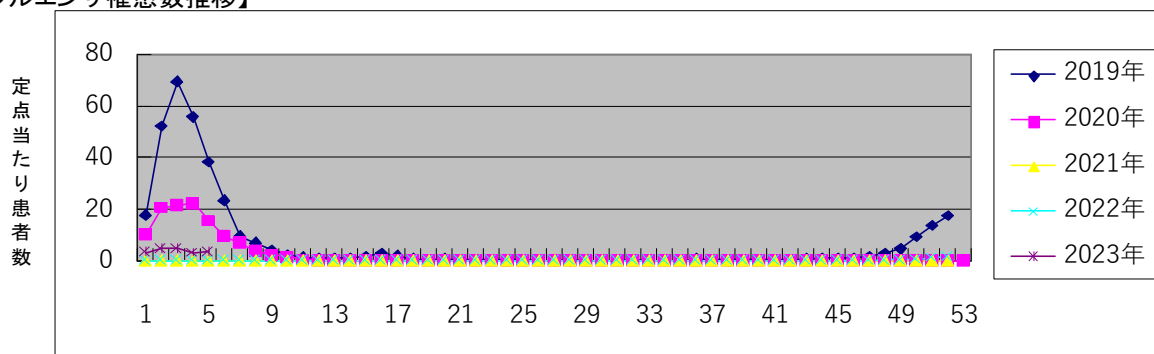


- ・風疹、麻疹とも患者発生なし。
- ・手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ及びロタウイルスによる感染性胃腸炎は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生状況は、40都道府県が注意報レベル、13都道府県が警報レベルに達した。本県に隣接する4県中注意報レベルに達したのは神奈川県(12,74)及び愛知県(10,05)で、長野県(5,56)及び山梨県(2,51)は本県とほぼ同等であり、人流を考慮しても静岡県が注意報レベルに達するまでには時間を要する可能性が示唆される。

・第5週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) RSウイルス感染症 4) 突発性発疹 5) 咽頭結膜熱で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者数は県下全地区で前週より減少した。

・全国では、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病で警報レベルに達した都道府県があるため、これらの動向にも注意が必要である。

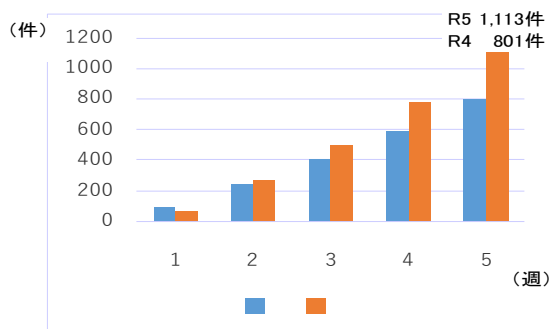
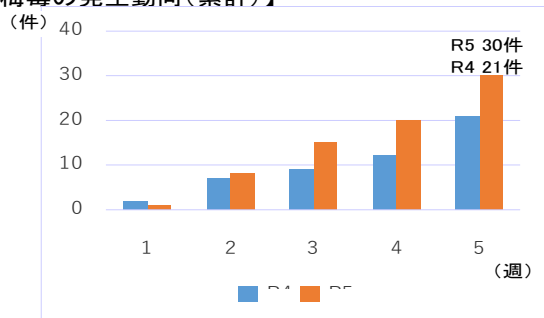
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】
(令和4年36～令和5年5週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～47週		0				
48週	静岡県	0				
	静岡市	3	0	1(遺伝子)	0	0
	浜松市	0				
49週		0				
50週	静岡県	5(西部HC) 1(賀茂HC)		3(遺伝子) 1(遺伝子)		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
51週	静岡県	2(賀茂HC) 1(熱海HC)		2(遺伝子) 1(遺伝子)		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
52週		0				
R5 1週		0				
2週	静岡県	0				
	静岡市	1	検査中			
	浜松市	0				
3週	静岡県	8(東部HC:3, 中部HC:2,賀茂HC:3)		7(遺伝子) 東部3/3,中部 1/2,賀茂3/3		
	静岡市	5		5(遺伝子)		
	浜松市	0				
4週	静岡県	1(賀茂HC)	検査中			
	静岡市	6		6(遺伝子)		
	浜松市	1	検査中			
5週	静岡県	2(西部HC)		2(遺伝子)		
	静岡市	1		1(遺伝子)		
	浜松市	0				

【梅毒の発生動向(累計)】



・静岡県、全国ともに前年より増加スピードが早く前年比約1.4倍で、全国の罹患数は1,000を超えた。

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 なし

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第5週（令和5年1月30日～令和5年2月5日）

高野医院（伊東市）「インフルエンザA型 17名」

むらかみ小児科クリニック（伊東市）「インフルエンザA型 2名」

光ヶ丘小児科（三島市）「インフルエンザA型 4名、ノロウイルス 12名、腸管アデノウイルス感染症 2名」

窪田医院（三島市）「インフルエンザA型 1名、ノロウイルス 4歳女児1名」

なかがわ医院（小山町）「インフルエンザA型 2名」

安田内科小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 2名」

富士病院（御殿場市）「インフルエンザA型 5名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 11名」

お八幡医院（御殿場市）「インフルエンザA型 8名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 11名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザA型 4名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「インフルエンザA型 4名」

むらまつファミリークリニック（藤枝市）「インフルエンザA型 5名（1歳女児1名、3歳女児1名、4歳女児1名、10～14歳男児1名、40～49歳女性1名）」

あしだクリニック（焼津市）「インフルエンザA型 7名（1歳男児1名、7歳男児1名、10～14歳男児2名・女児2名、20歳以上男性1名）」

鈴木小児科医院（磐田市）「インフルエンザA型 4名」

きもと小児科（湖西市）「インフルエンザA型 8名、インフルエンザB型 2名」

田中医院（磐田市）「インフルエンザA型 6名（2歳男児1名・女児1名、3歳女児1名、4歳女児1名、6歳男児1名、30～39歳男性1名）」

浜松医療センター（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

総合病院聖隷浜松病院（小児科）（浜松市）「インフルエンザ 4名」

クリニックパパ（浜松市）「インフルエンザA型 8名」

今西こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザ 11名」

総合病院聖隷三方原病院（小児科）（浜松市）「インフルエンザ 2名」

げんきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 3名」

いぬかい小児科（浜松市）「インフルエンザA型 7名」

すずきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 5名」

幸田子供クリニック（浜松市）「インフルエンザA型 8名」
たなか小児科（浜松市）「インフルエンザ 21名」
天童こども医院（浜松市）「インフルエンザ 9名」
小児科竹内医院（浜松市）「インフルエンザA型 2名」
小松診療所（浜松市）「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 1名」
金指こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 11名、インフルエンザB型 4名」
縣医院（浜松市）「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 1名」
おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 2名」
遠州病院（浜松市）「インフルエンザ 2名」
くまがいクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 2名」
高平内科（浜松市）「インフルエンザ 1名」
大竹内科医院（浜松市）「インフルエンザA型 2名」
宮口こんどうクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 3名」
すずしろクリニック（浜松市）「インフルエンザ 3名」
のずえ内科呼吸器クリニック（浜松市）「インフルエンザA型 9名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況（R4-R5 シーズン累計）

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	1,247名	96%
インフルエンザB型	53名	4%

静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。

- ・引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国				
		52週	1週	2週	3週	4週	今週	年累計	2週	3週	4週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		2	3	10	6	4	5	30	154	150	194	179	940
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		33,020	42,691	40,872	27,564	17,713	12,354	141,194	943,064	628,695	419,033	280,344	3,445,248
コレラ													
細菌性赤痢													1
腸管出血性大腸菌感染症		1	1	1		1		3	18	16	32	13	94
腸チフス									1	2		2	5
パラチフス												1	1
E型肝炎							1	1	10	12	13	6	50
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									1	1	2	2	6
エキノコックス症										1			1
糞熱													
オウム病											1		1
オムスク出血熱													
回帰熱													
キヤサヌル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘										1	6	2	10
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群												1	2
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													
つつが虫病									6	10			34
デング熱									1	1			4
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱										1		2	5
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										1			2
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症		1	1		1			2	25	23	24	13	126
レプトスピラ症													1
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢									2	4	12	10	35
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									1	1	3	2	11
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						1		1	14	19	24	27	148
急性弛緩性麻痺									2		1	1	5
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				2				3	10	4	7	5	42
クリプトスポリジウム症													
クロイツフェルト・ヤコブ病						1		1	4	2	2		10
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1					1	16	14	8	10	84
後天性免疫不全症候群									5	9	11	13	65
ジアルジア症					1			1					2
優勢性インフルエンザ菌感染症				1				1	6	3	2	1	26
優勢性髄膜炎菌感染症											2		2
優勢性肺炎球菌感染症									32	22	22	19	166
水痘(入院例に限る)							1	1	2	1	3	4	14
先天性風しん症候群													
梅毒			1	7	5	3	8	30	134	137	171	185	1,113
播種性クリプトコックス症									3	4	4	3	18
破傷風						1		1			3	3	6
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1								2	5		11
百日咳								1	8	6	9	9	44
風しん													
麻疹													
薬剤耐性アシネトバクター感染症													1
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 5 週

	静岡県							全国				
	52週	1週	2週	3週	4週	今週	計	2週	3週	4週	今週	計
RSウイルス感染症	52	20	15	37	22	32	178	561	907	982	1,020	3,470
咽頭結膜熱	10	11	12	10	14	11	68	360	385	375	406	1,526
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	7	10	20	17	10	72	866	1,257	1,271	1,384	4,778
感染性胃腸炎	231	209	374	571	655	797	2,837	18,155	24,263	23,230	24,866	90,514
水痘	5	13	5	7	5	9	44	266	232	228	213	939
手足口病	7	4		2	2		15	282	332	322	293	1,229
伝染性紅斑	1	1	1	1	2		6	21	16	26	20	83
突発性発しん	13	13	18	12	17	21	94	728	748	695	697	2,868
ヘルパンギーナ	1				1		2	138	189	170	156	653
流行性耳下腺炎	1	4	4	4	4	4	21	68	84	76	96	324
インフルエンザ	195	444	642	634	418	465	2,798	36,388	47,366	51,219	62,583	197,556
急性出血性結膜炎								14	5	6	3	28
流行性角結膜炎		3	4	1		2	10	169	145	132	144	590
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									2	1		3
細菌性髄膜炎		1					1	3	7	9	3	22
マイコプラズマ肺炎		1			1		2	9	6	14	9	38
無菌性髄膜炎								4	7	9	12	32
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								3	1	5	4	13

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 5 週

	静岡県						全国			
	第52週	第1週	第2週	第3週	第4週	今週	第2週	第3週	第4週	今週
RSウイルス感染症	0.58	0.22	0.17	0.42	0.25	0.36	0.18	0.29	0.31	0.32
咽頭結膜熱	0.11	0.12	0.13	0.11	0.16	0.12	0.11	0.12	0.12	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.09	0.08	0.11	0.22	0.19	0.11	0.27	0.40	0.40	0.44
感染性胃腸炎	2.60	2.35	4.20	6.42	7.36	8.96	5.76	7.71	7.38	7.89
水痘	0.06	0.15	0.06	0.08	0.06	0.10	0.08	0.07	0.07	0.07
手足口病	0.08	0.04		0.02	0.02		0.09	0.11	0.10	0.09
伝染性紅斑	0.01	0.01	0.00	0.01	0.02		0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.15	0.15	0.20	0.13	0.19	0.24	0.23	0.24	0.22	0.22
ヘルパンギーナ	0.01				0.01		0.04	0.06	0.05	0.05
流行性耳下腺炎	0.01	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.02	0.03	0.02	0.03
インフルエンザ	1.40	3.19	4.62	4.56	3.01	3.35	7.37	9.59	10.36	12.66
急性出血性結膜炎							0.02	0.01	0.01	
流行性角結膜炎		0.14	0.18	0.05		0.09	0.24	0.21	0.19	0.21
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.03	
細菌性髄膜炎		0.10					0.01	0.01	0.02	0.01
マイコプラズマ肺炎		0.10			0.10		0.02	0.01	0.03	0.02
無菌性髄膜炎							0.01	0.01	0.02	0.03
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01		0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 5 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	32	0.36	11	0.12	10	0.11	797	8.96	9	0.10
賀茂	17	8.50								
熱海							40	10.00		
東部			1	0.08			144	11.08	1	0.08
御殿場					1	0.25	72	18.00	1	0.25
富士			1	0.11			56	6.22	2	0.22
静岡市	6	0.38	1	0.06	4	0.25	144	9.00	1	0.06
中部	1	0.09			1	0.09	85	7.73	2	0.18
西部	4	0.33	3	0.25	1	0.08	92	7.67		
浜松市	4	0.22	5	0.28	3	0.17	164	9.11	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	0		0		21	0.24	0	0	0	
賀茂										
熱海										
東部					1	0.08				
御殿場					3	0.75				
富士					2	0.22				
静岡市					5	0.31				
中部					1	0.09				
西部					2	0.17				
浜松市					7	0.39				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	4	0.04	465	3.35	0	0	0	0	89	50
賀茂			4	1.33					2	1
熱海			22	3.67					4	2
東部			48	2.40					13	7
御殿場			28	4.67					4	2
富士	1	0.11	30	2.00					9	6
静岡市			106	4.24					16	9
中部	1	0.09	40	2.35					11	6
西部			52	2.74					12	7
浜松市	2	0.11	135	4.82					18	10

*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 5 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		2	0.09	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士										
静岡市			1	0.20						
中部										
西部										
浜松市			1	0.33						

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
—	1
—	1
4	1
—	
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

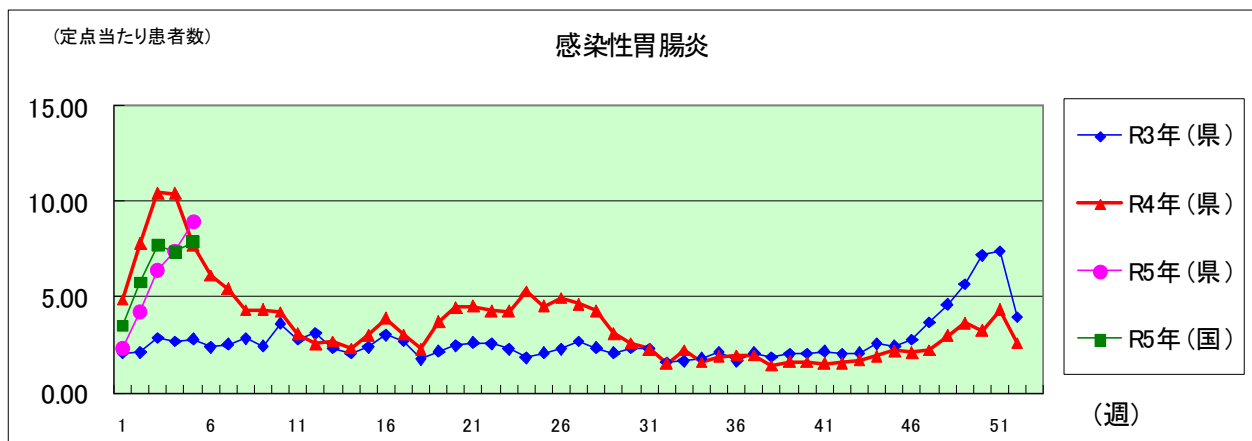
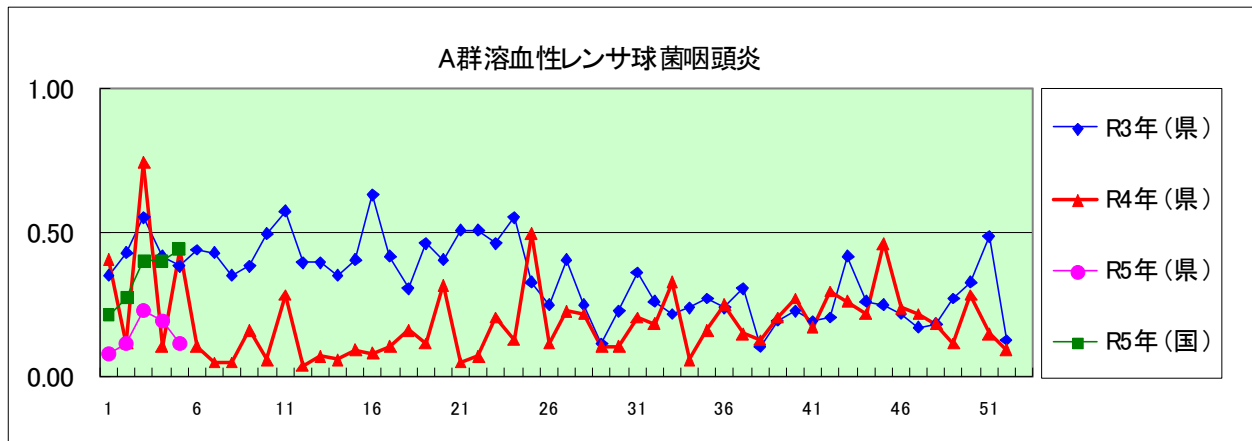
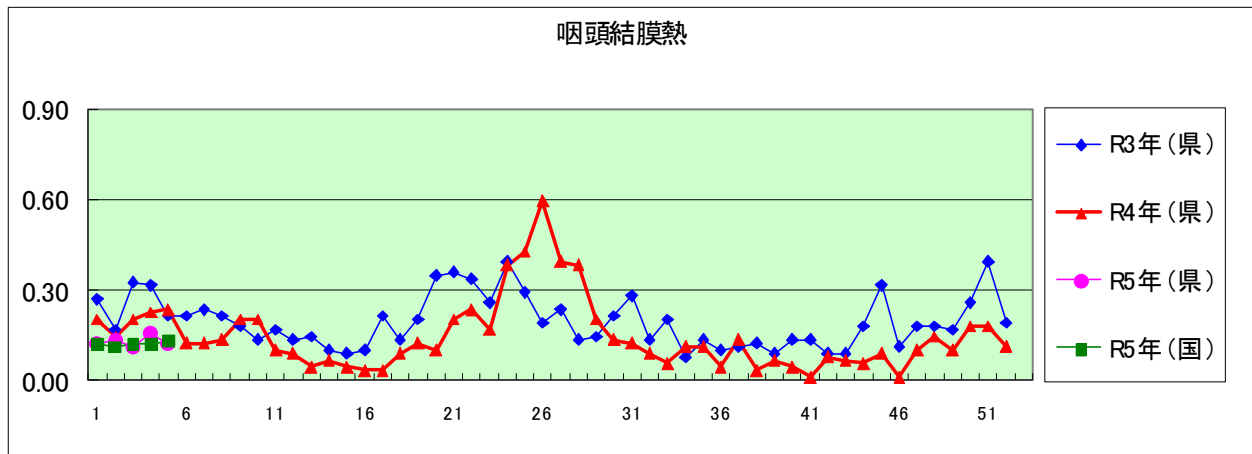
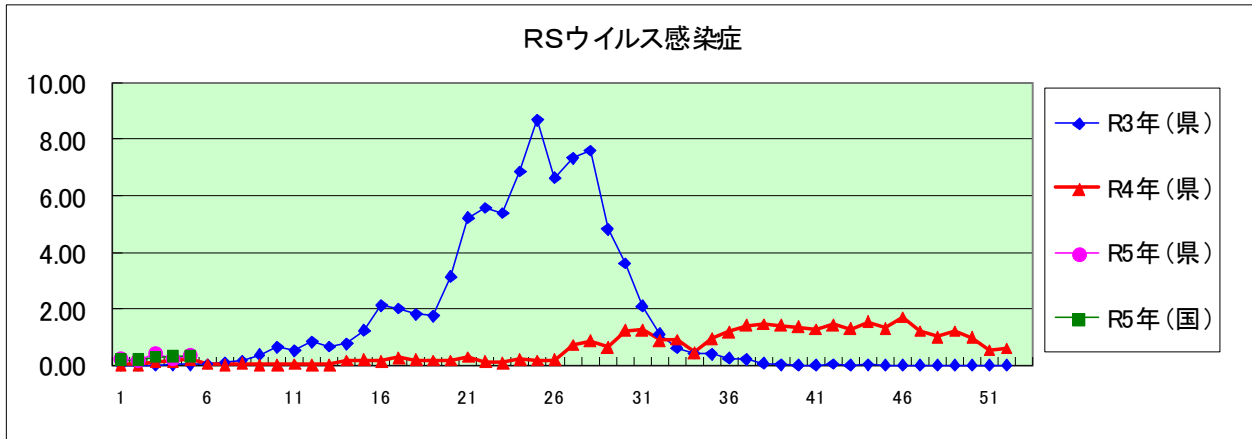
2023年 5 週

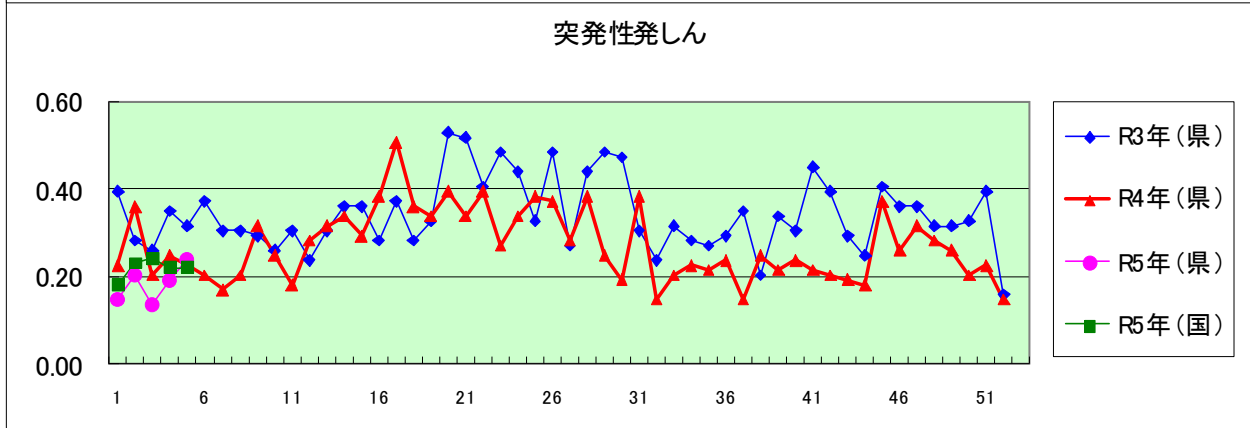
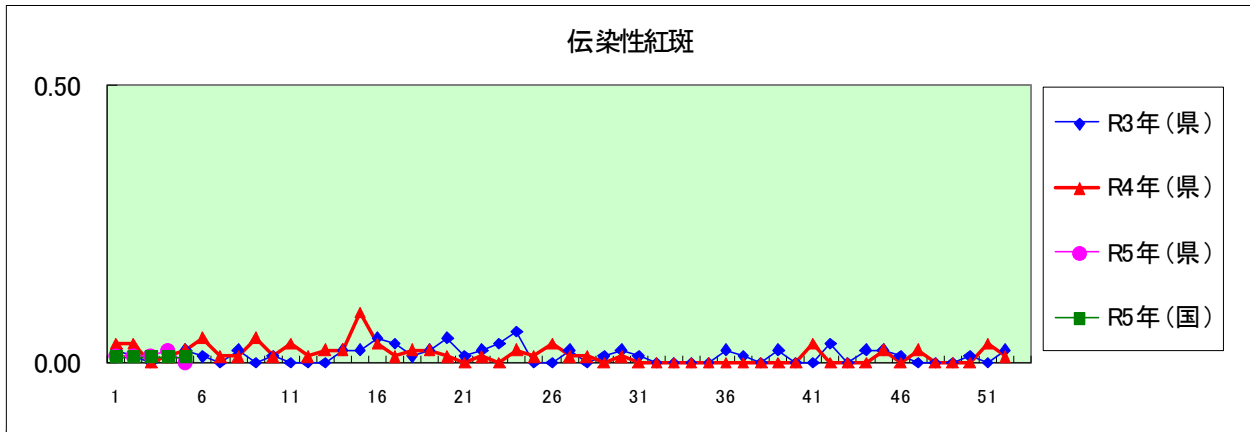
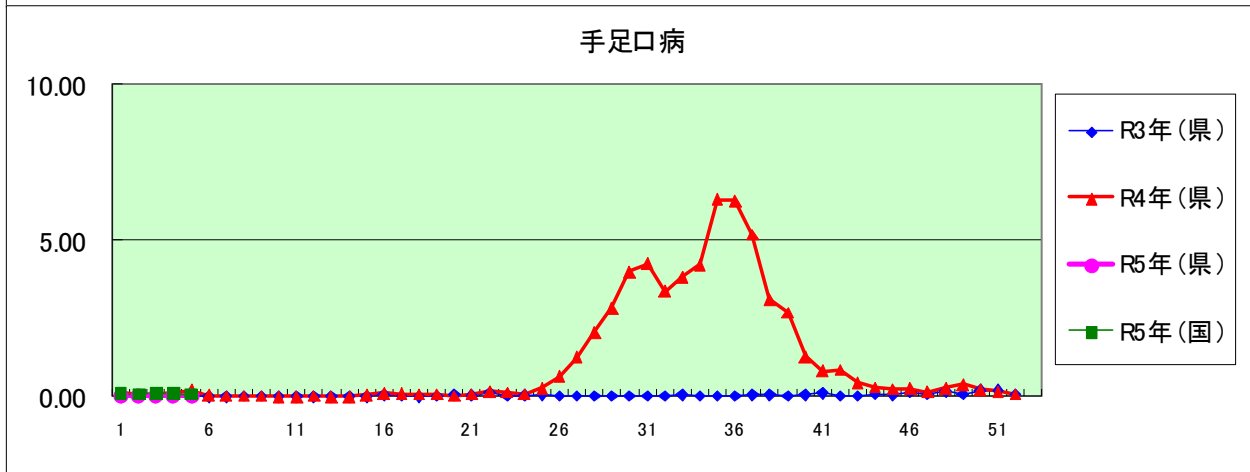
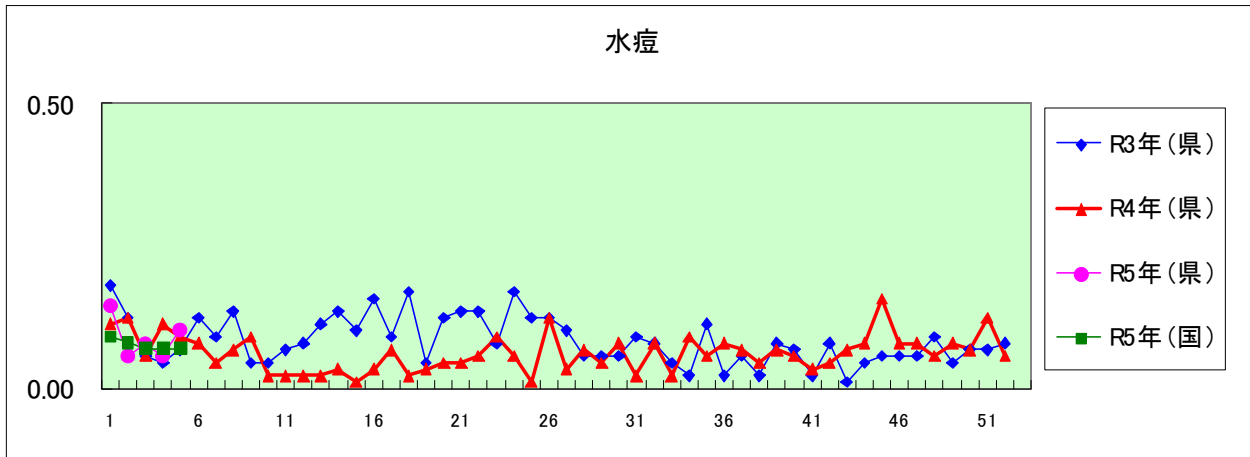
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症		3	6	6	2	4	2	1	3					5							32
咽頭結膜熱	1		5	2	2	1															11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1	3	1	1	2						1	1						10
感染性胃腸炎	5	35	110	123	105	100	80	69	37	20	22	42	5	44							797
水痘	1		1		1			1	3			1	1								9
手足口病																					
伝染性紅斑																					
突発性発しん		5	9	5		1	1														21
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎								2	1		1										4
インフルエンザ	4	2	17	21	20	40	42	34	31	25	30	101	27	18	18	7	14	6	4	4	465
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎												1	1								2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

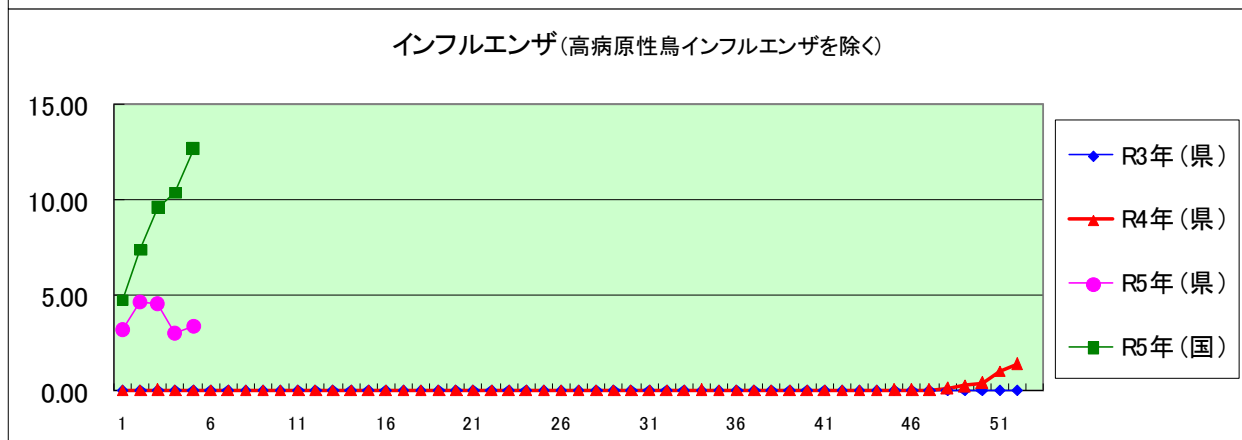
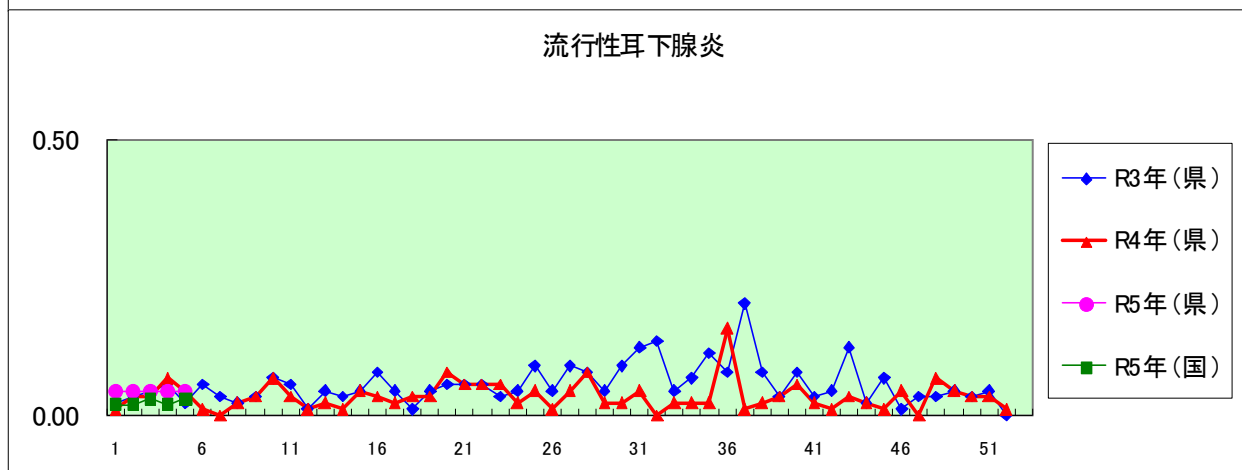
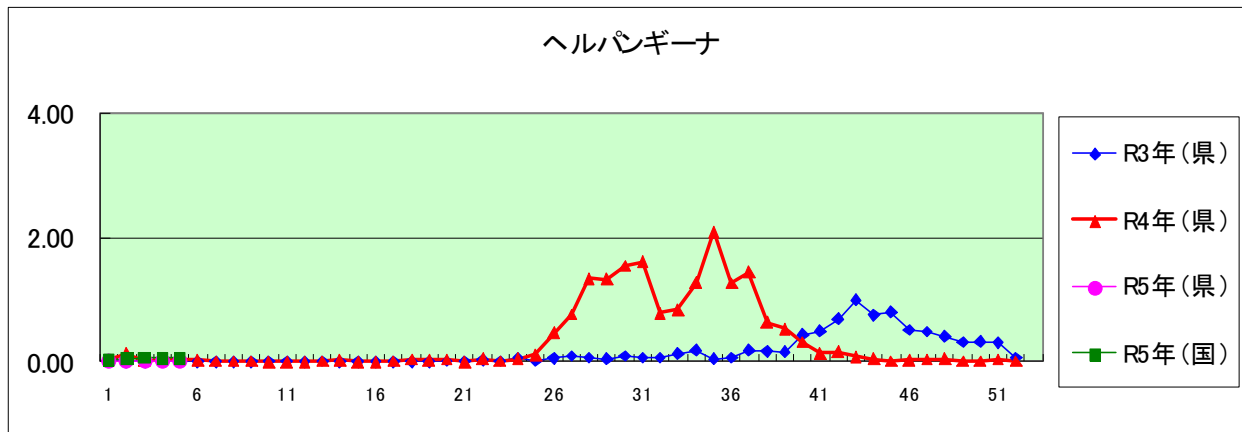
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

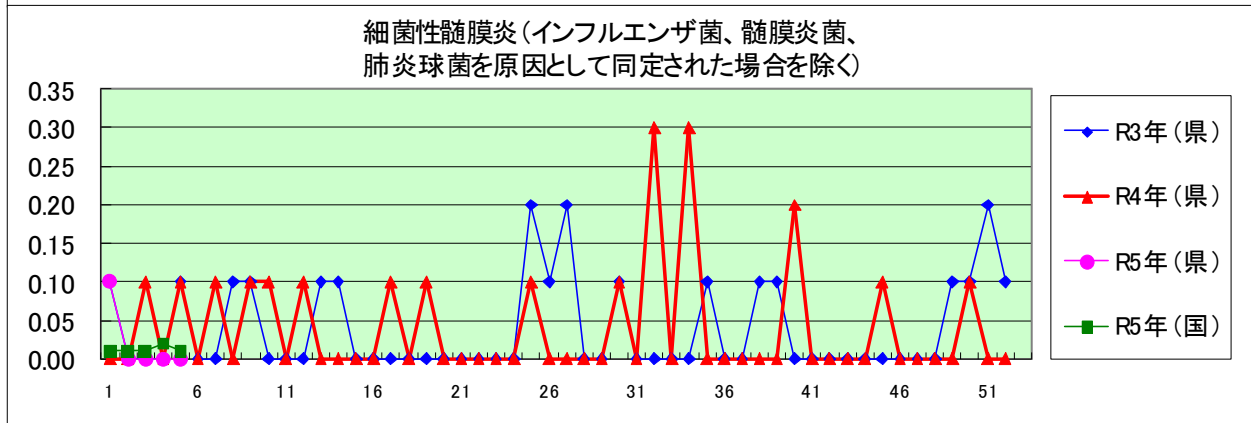
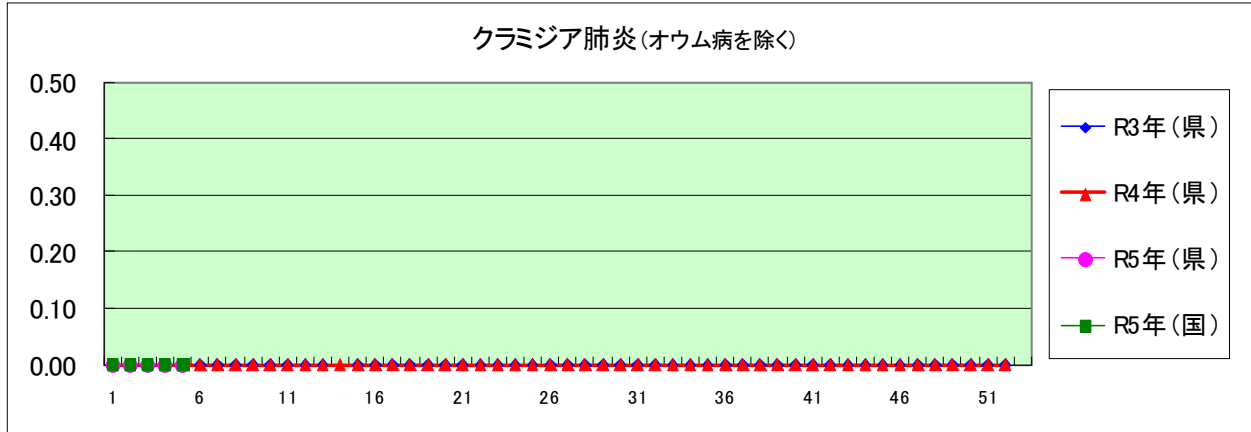
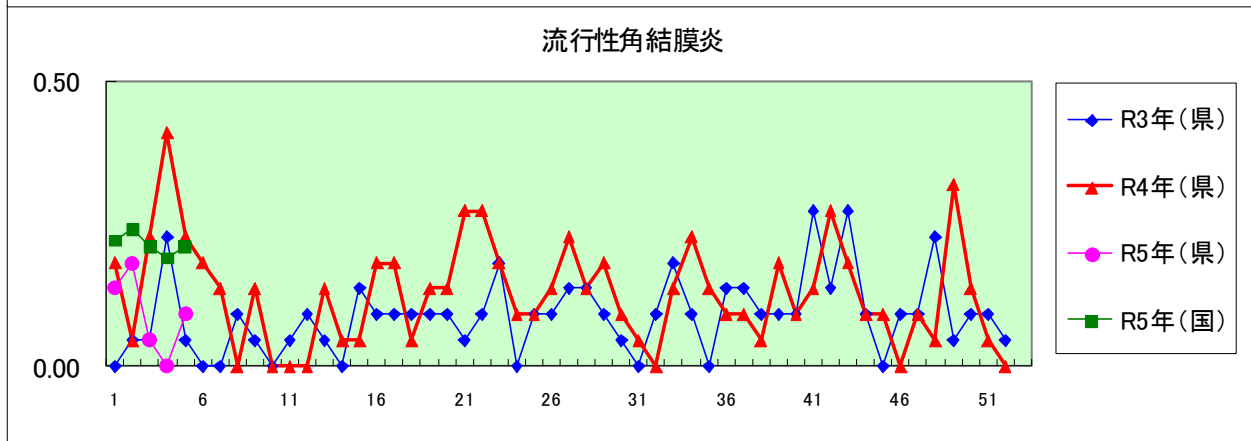
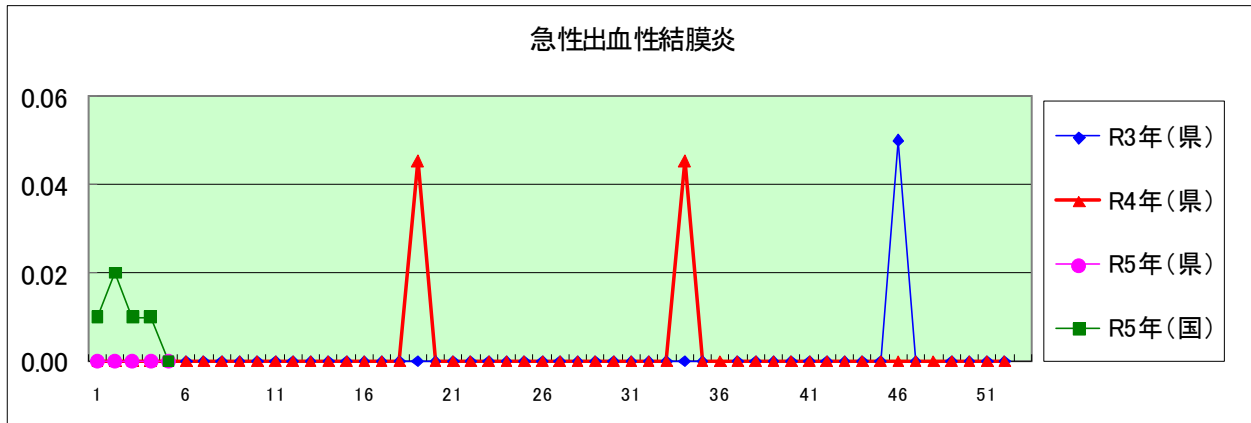
2023年 5 週

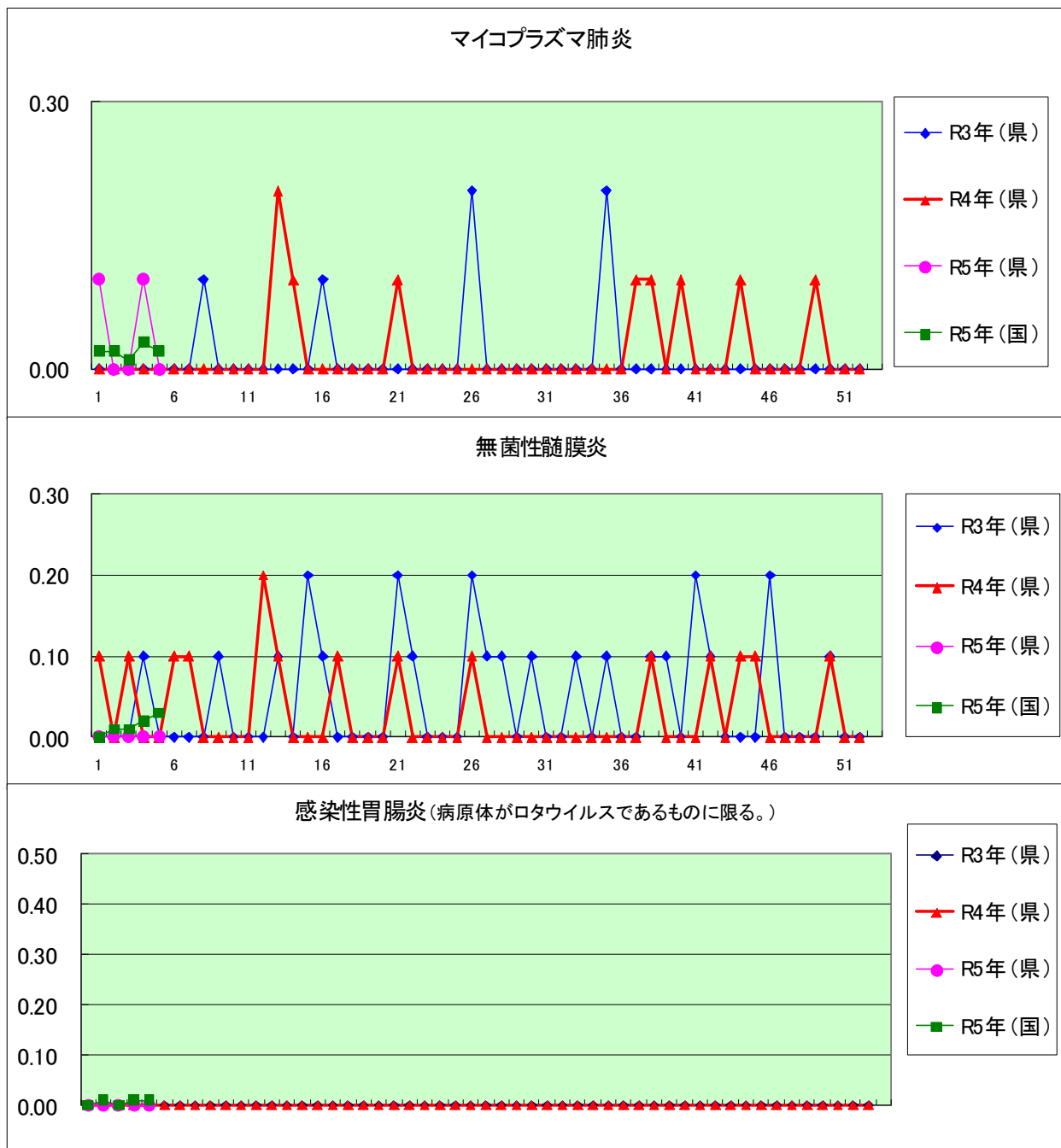
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症		0.03	0.07	0.07	0.02	0.04	0.02	0.01	0.03					0.06							0.36
咽頭結膜熱	0.01		0.06	0.02	0.02	0.01															0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.01	0.03	0.01	0.01	0.02					0.01	0.01							0.11
感染性胃腸炎	0.06	0.39	1.24	1.38	1.18	1.12	0.90	0.78	0.42	0.22	0.25	0.47	0.06	0.49							8.96
水痘	0.01		0.01		0.01			0.01	0.03		0.01	0.01									0.10
手足口病																					
伝染性紅斑																					
突発性発しん		0.06	0.10	0.06		0.01	0.01														0.24
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎								0.02	0.01		0.01										0.04
インフルエンザ	0.03	0.01	0.12	0.15	0.14	0.29	0.30	0.24	0.22	0.18	0.22	0.73	0.19	0.13	0.13	0.05	0.10	0.04	0.03	0.03	3.35
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎												0.05	0.05								0.09
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					











定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2022年 12 月

	静岡県							全国				
	7月	8月	9月	10月	11月	今月	計	9月	10月	11月	今月	計
性器クラミジア感染症	48	43	45	57	57	49	299	2,548	2,701	2,614	2,334	10,197
性器ヘルペスウイルス感染症	21	27	8	23	18	19	116	672	736	699	663	2,770
尖圭コンジローマ	8	7	9	18	11	6	59	502	517	580	483	2,082
淋菌感染症	15	10	14	16	11	11	77	834	903	833	755	3,325
性器クラミジア感染症(男)	14	14	10	16	21	18	93	1,275	1,419	1,346	1,173	5,213
性器クラミジア感染症(女)	34	29	35	41	36	31	206	1,273	1,282	1,268	1,161	4,984
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	11		14	5	5	39	259	300	252	239	1,050
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	17	16	8	9	13	14	77	413	436	447	424	1,720
尖圭コンジローマ(男)	4	2	3	8	6	3	26	318	342	400	337	1,397
尖圭コンジローマ(女)	4	5	6	10	5	3	33	184	175	180	146	685
淋菌感染症(男)	11	9	11	8	9	6	54	628	686	618	556	2,488
淋菌感染症(女)	4	1	3	8	2	5	23	206	217	215	199	837
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								46	79	89		214
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	17	20	14	15	18	10	94	1,274	1,225	1,225	1,210	4,934
薬剤耐性緑膿菌感染症								8	6	8		22

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2022年 12 月

	静岡県						全国			
	7月	8月	9月	10月	11月	今月	9月	10月	11月	今月
性器クラミジア感染症	1.60	1.43	1.50	1.90	1.90	1.63	2.60	2.75	2.67	2.38
性器ヘルペスウイルス感染症	0.70	0.90	0.27	0.77	0.60	0.63	0.69	0.75	0.71	0.68
尖圭コンジローマ	0.27	0.23	0.30	0.60	0.37	0.20	0.51	0.53	0.59	0.49
淋菌感染症	0.50	0.33	0.47	0.53	0.37	0.37	0.85	0.92	0.85	0.77
性器クラミジア感染症(男)	0.47	0.47	0.33	0.53	0.70	0.60	1.30	1.45	1.37	1.19
性器クラミジア感染症(女)	1.13	0.97	1.17	1.37	1.20	1.03	1.30	1.31	1.30	1.18
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.37		0.47	0.17	0.17	0.26	0.31	0.26	0.24
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.57	0.53	0.27	0.30	0.43	0.47	0.42	0.44	0.46	0.43
尖圭コンジローマ(男)	0.13	0.07	0.10	0.27	0.20	0.10	0.32	0.35	0.41	0.34
尖圭コンジローマ(女)	0.13	0.17	0.20	0.33	0.17	0.10	0.19	0.18	0.18	0.15
淋菌感染症(男)	0.37	0.30	0.37	0.37	0.30	0.20	0.64	0.70	0.63	0.57
淋菌感染症(女)	0.13	0.03	0.10	0.27	0.07	0.17	0.21	0.22	0.22	0.20
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.10	0.17	0.19	0.17
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.70	2.00	1.40	1.50	1.80	1.00	2.68	2.58	2.57	2.54
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.01	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年 12 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	49	1.63	19	0.63	6	0.20	11	0.37
賀茂								
熱海	3	3.00	1	1.00				
東部	1	0.20	1	0.20				
御殿場	4	4.00	2	2.00				
富士	6	2.00	2	0.67			1	0.33
静岡市	14	2.33	5	0.83	3	0.50	4	0.67
中部	6	1.50	2	0.50			1	0.25
西部	11	2.20	3	0.60			1	0.20
浜松市	4	0.80	3	0.60	3	0.60	4	0.80

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			10	1.00		
賀茂						
熱海						
東部			1	1.00		
御殿場						
富士						
静岡市			6	3.00		
中部						
西部			2	2.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	-	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	-
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

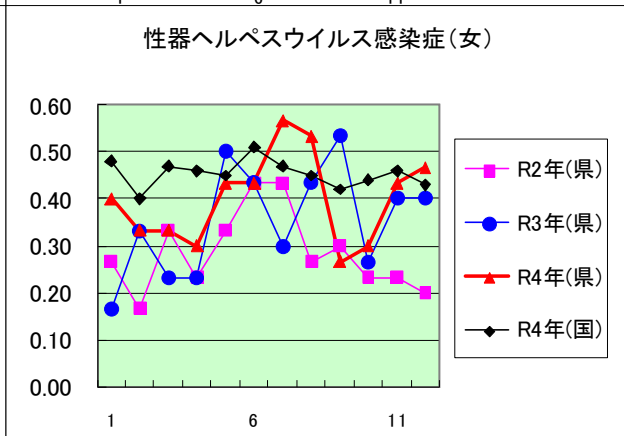
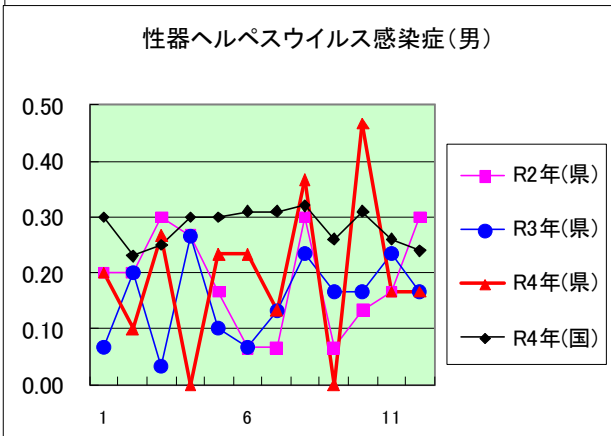
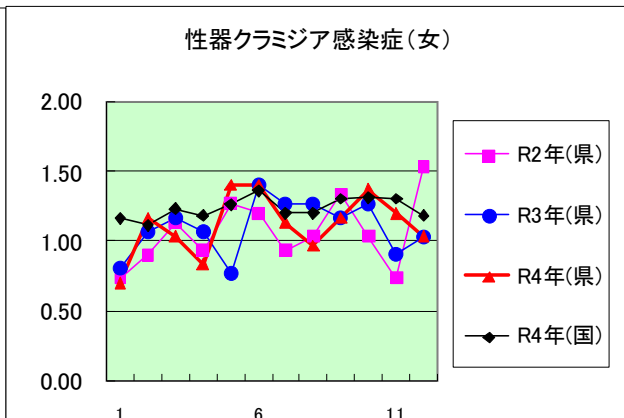
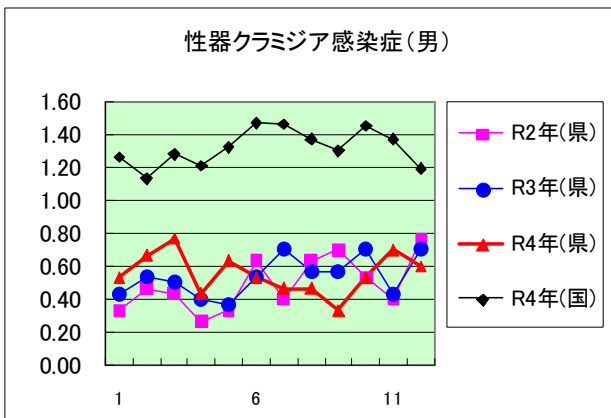
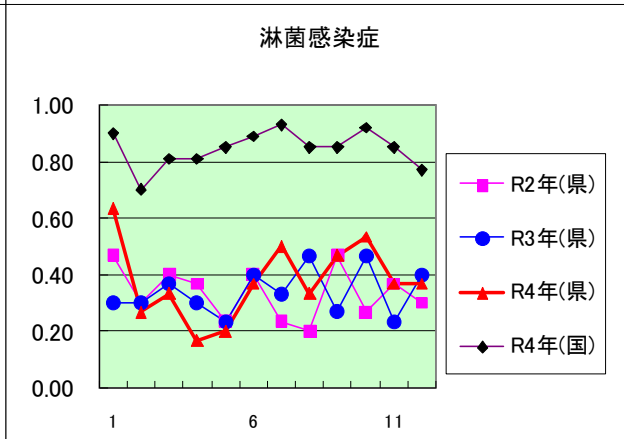
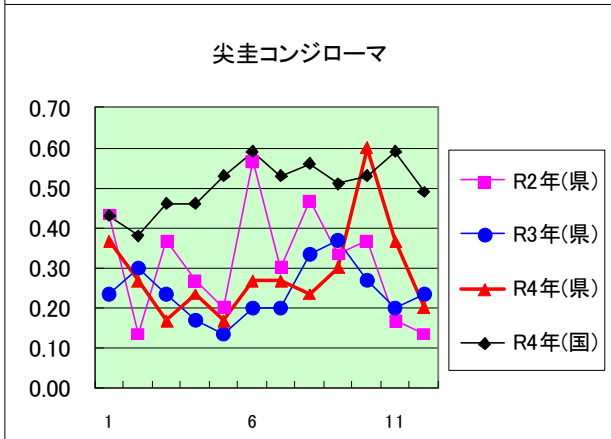
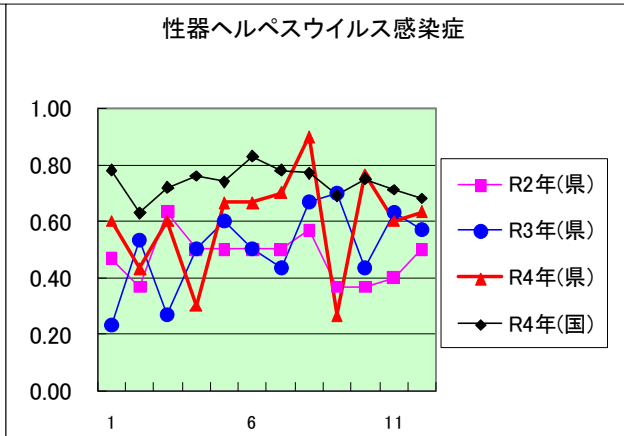
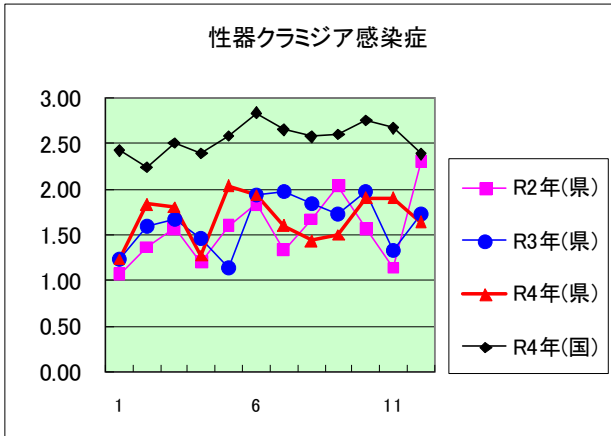
2022年 12 月

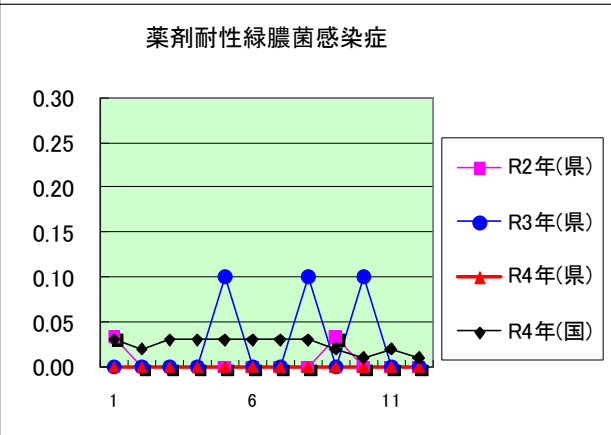
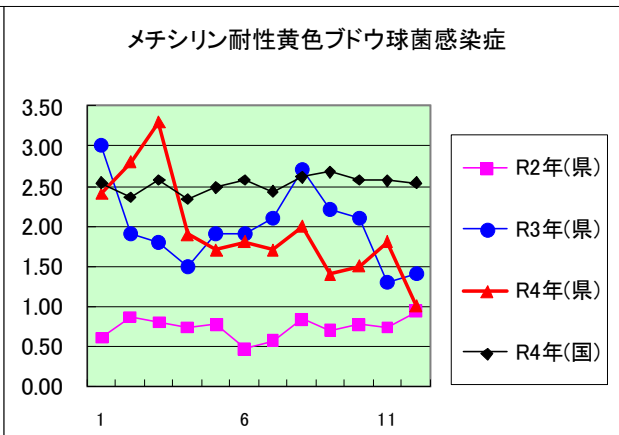
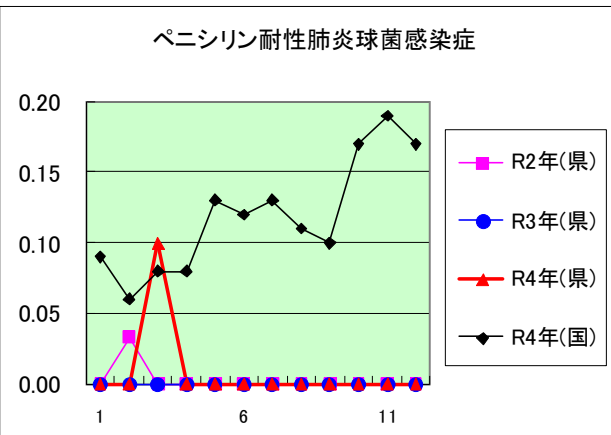
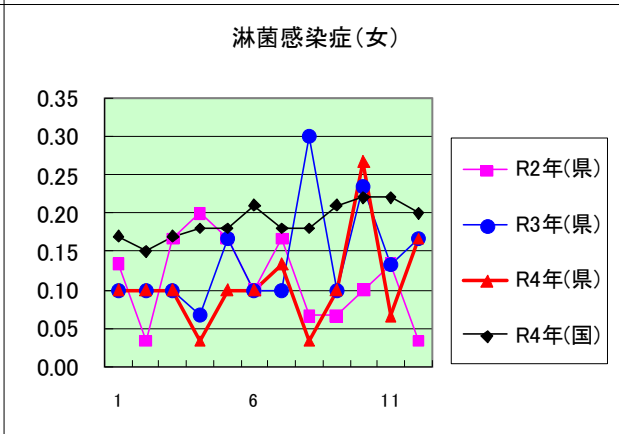
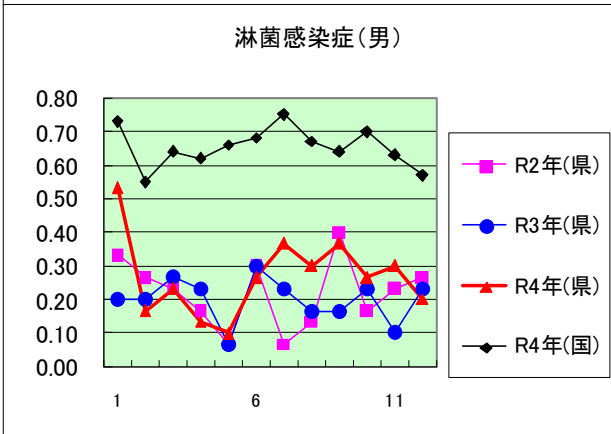
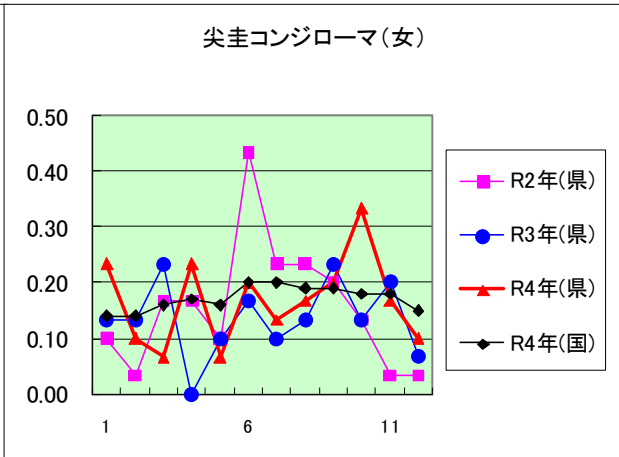
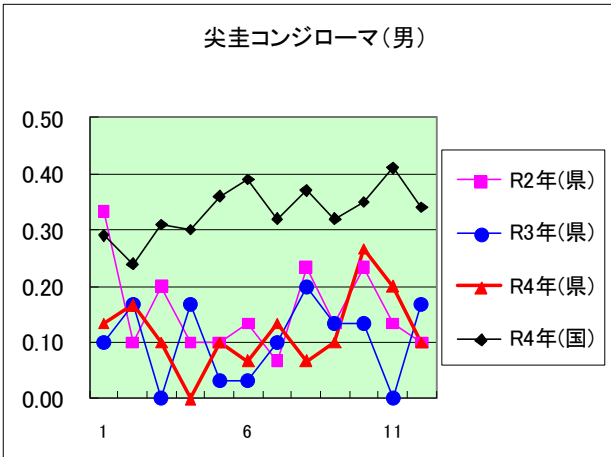
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症						22	6	8	7	1	1	1	1	1		1	49
性器ヘルペスウイルス感染症						2	1	6	6	1		2		1			19
尖圭コンジローマ						1		2	2					1			6
淋菌感染症					1	2	1	1	3				2	1			11
性器クラミジア感染症(男)						8	2	2	3				1	1		1	18
性器クラミジア感染症(女)						14	4	6	4	1	1	1					31
性器ヘルペスウイルス感染症(男)								2	3								5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	1	4	3	1		2		1			14
尖圭コンジローマ(男)								2	1								3
尖圭コンジローマ(女)						1			1					1			3
淋菌感染症(男)					1	1		1	2				1				6
淋菌感染症(女)						1	1		1				1	1			5
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症													1			9	10
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 12 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症						0.73	0.20	0.27	0.23	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		0.03	1.63
性器ヘルペスウイルス感染症						0.07	0.03	0.20	0.20	0.03		0.07		0.03			0.63
尖圭コンジローマ						0.03		0.07	0.07					0.03			0.20
淋菌感染症					0.03	0.07	0.03	0.03	0.10				0.07	0.03			0.37
性器クラミジア感染症(男)						0.27	0.07	0.07	0.10				0.03	0.03		0.03	0.60
性器クラミジア感染症(女)						0.47	0.13	0.20	0.13	0.03	0.03	0.03					1.03
性器ヘルペスウイルス感染症(男)								0.07	0.10								0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.03	0.13	0.10	0.03		0.07		0.03			0.47
尖圭コンジローマ(男)								0.07	0.03								0.10
尖圭コンジローマ(女)						0.03			0.03					0.03			0.10
淋菌感染症(男)					0.03	0.03		0.03	0.07				0.03				0.20
淋菌感染症(女)						0.03	0.03		0.03				0.03	0.03			0.17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症													0.10			0.90	1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

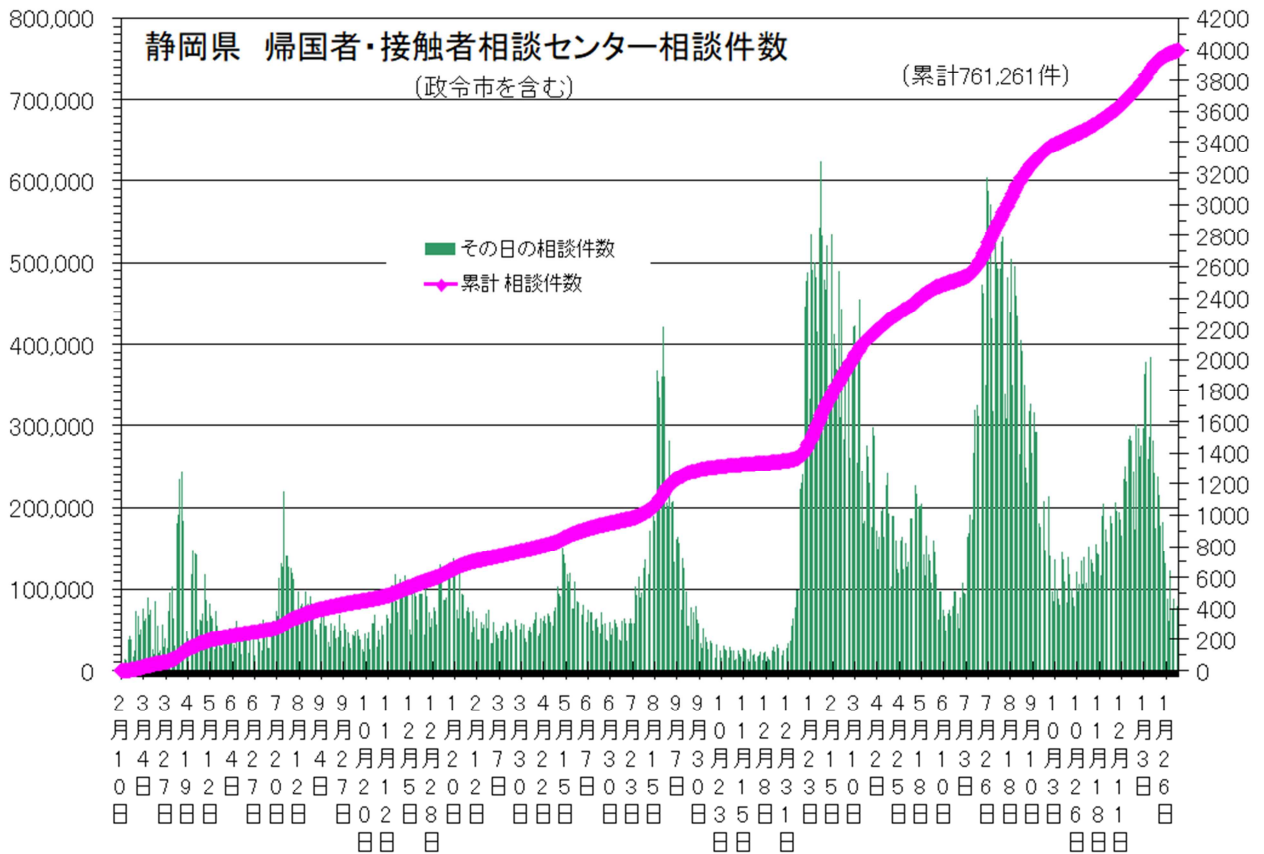




定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

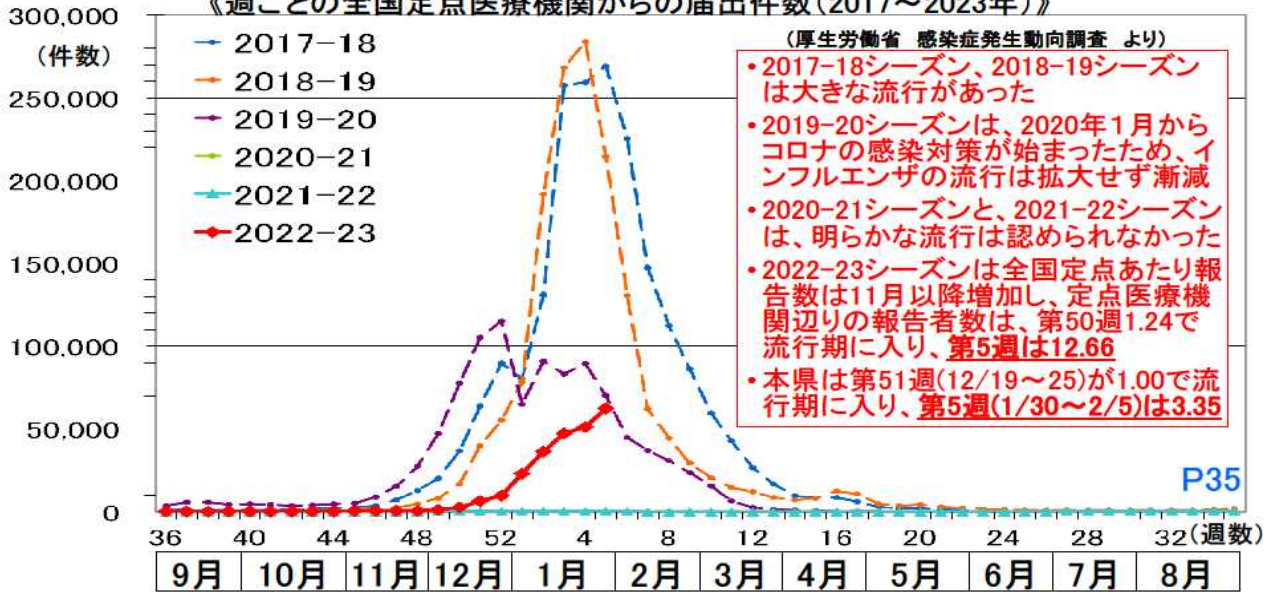
新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和5年2月8日時点）

項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
2月1日 水	2,488	23,001	2,601	11,590	50.4%
2月2日 木	3,866		1,999		
2月3日 金	4,200		1,759		
2月4日 土	2,152		1,652		
2月5日 日	1,384		1,558		
2月6日 月	5,563		944		
2月7日 火	3,348		1,077		



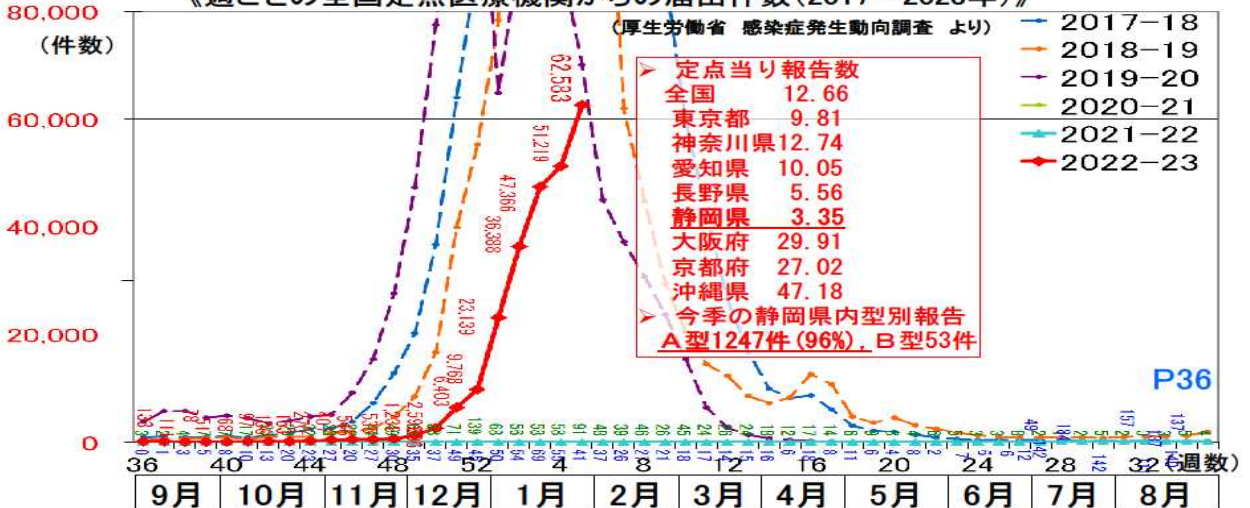
日本 今季のインフルエンザの流行状況(1/30~2/5 第5週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》

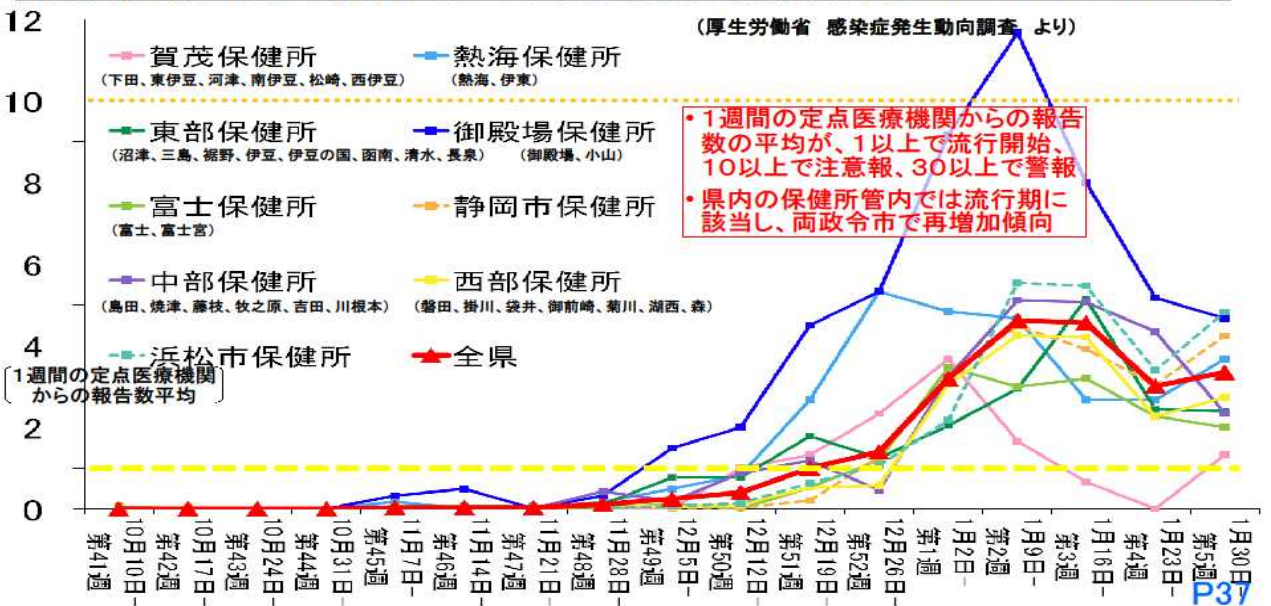


日本 今季のインフルエンザの流行状況(1/30~2/5 第5週時点) 【拡大】

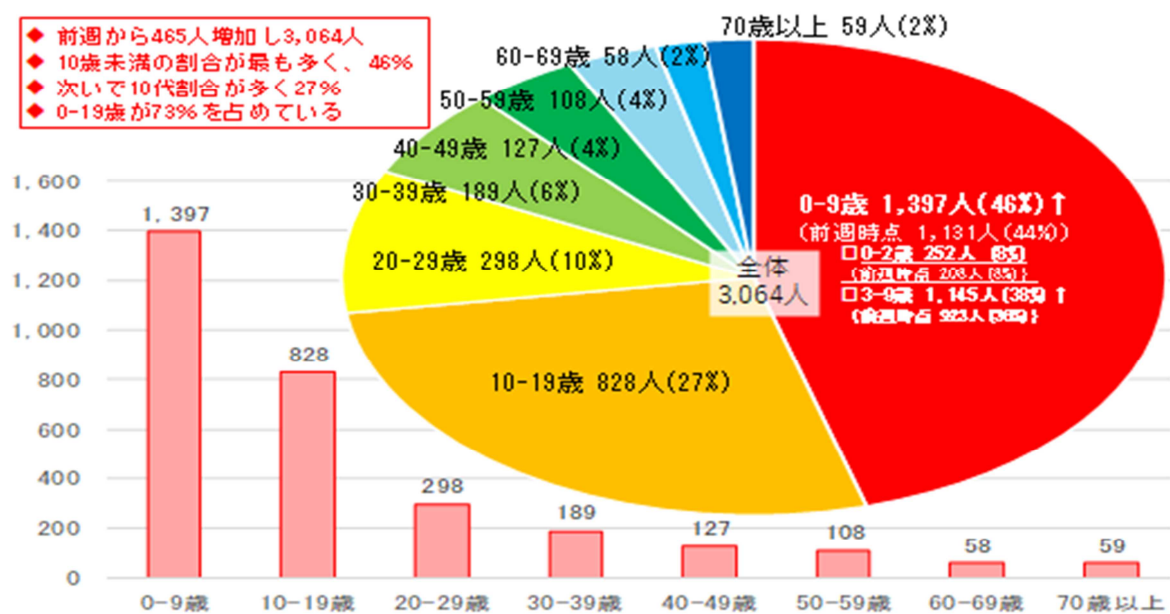
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》



静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数(2022.10/10~2023.2/5)



静岡県の今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合
2023年第5週(1/30-2/5)時点 (政令市含む全県)



☆県民のみなさまへ注意喚起

(1) 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

(新型コロナウイルス対策と同じです)

- なるべく密を避けましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

(2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症にそなえて

- インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください
- 発熱などの体調不良時にそなえて、解熱鎮痛薬、生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう
- 発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください（復帰する際の検査の陰性証明や治癒証明も同様です）

サル痘

- ・サル痘は、サル痘ウイルス感染による急性発疹性疾患であり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）では、四類感染症に指定されています。1970年にザイール（現在のコンゴ民主共和国）でヒトで初めて感染が確認された感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。
- ・2022年5月以降、従前のサル痘流行国への海外渡航歴のないサル痘患者が欧州、米国等で報告されており、日本では感染症発生動向調査において、集計の開始された2003年以降、輸入例を含めサル痘患者の報告はありませんでしたが、2022年7月25日、東京都在住の方の感染が初めて報告されました（R5.2.8現在：国内19例）。

<感染経路・予防法等>

項目	内容
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・サル痘ウイルスに感染した動物（リスなどのげっ歯類）の血液、体液、皮膚病変との接触による感染が確認されています。 ・主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具やタオル等に触れた場合等により感染します。
症状	<ul style="list-style-type: none"> ・潜伏期間は5～21日（通常7～14日）であり、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などが1～5日続いた後、発疹や水ぶくれが出現します（特に顔、口、手足、肛門、性器、お尻の発疹に注意）。 ・多くの場合、2～4週間持続し自然軽快するが、免疫力の低下している人では重症化するケースもあります。また、皮膚の二次細菌感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎などの合併症をまれに起こすことがあります。
治療法	<ul style="list-style-type: none"> ・現在国が内服治療薬やワクチンを使用できるよう準備中です。
予防法	<ul style="list-style-type: none"> ・流行地では感受性のある動物や感染者との接触をさけることが大切です。 ・患者等が使用したりネン類や衣類に触れるときは、手袋などを着用して直接的な接触を避けること、触れた後に手洗いをするのが大切です。 ・発熱、発疹がありサル痘が疑われる場合、マスク着用、手指衛生を行うことが重要です。 ・また、天然痘ワクチンが有効（日本では1976年以降天然痘ワクチンの接種は行われていない）であるとの報告がなされています。
法令上の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症法において、全数把握対象（四類感染症）であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければならない。

県民の皆様へ

- ・サル痘は、サル痘ウイルスによる急性発疹性疾患です。主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類が自然宿主とされており、感染した動物に噛まれたり、感染した動物の血液、体液、皮膚病変（発疹部位）との接触による感染が確認されています。主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。
- ・これまでアフリカ大陸の流行地域（アフリカ大陸西部から中央部）で主に発生が確認されていましたが、2022年5月以降海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。
- ・サル痘の潜伏期間は7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- ・発熱、発疹等、体調に異常がある場合には身近な医療機関に相談するとともに、手指消毒等の基本的な感染対策を行ってください。
- ・海外からの帰国された方で、体調に異常がある場合は、到着した空港等の検疫ブースで検疫官に申し出てください。帰国後に症状が認められた場合は、医療機関を受診し、医師へ海外への渡航歴を教えてください。
- ・なお、海外では、サル痘の予防に対しては、天然痘ワクチンが有効であるとの報告がなされており、ウイルスへの曝露後4日以内の接種で感染予防効果が、曝露後4～14日以内の接種で重症化予防効果があるとされています。天然痘ワクチンについては、国において十分な量の備蓄が行われています。

<関連情報>

- ・静岡県ホームページ（サル痘について）
<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/kansen/monkeypox.html>
- ・厚生労働省ホームページ（サル痘について）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html
- ・国立感染症研究所ホームページ（サル痘とは）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>